

©木暮正夫／「河童のクゥと夏休み」製作委員会



©臼井儀人／双葉社・シンエイ動画・テレビ朝日

子どもたちの心は、何を見つめているのか？

©ワオ・コーポレーション



©Cheburashka project



アニメ文化とともに育つ子どもたち

ー日本のアニメはどこへゆくのかー

日時 **2008年12月6日(土)** [開場] 12:30
[開演] 13:00 [終演(予定)] 17:00

場所 **大阪ビジネスパーク円形ホール**
大阪市中央区城見2-1-61

プログラム

【第1部】基調講演
「ジブリ美術館と世界のアニメーション」

【講師】中島 清文氏(三鷹の森ジブリ美術館館長)

【第2部】基調対談
「『クレヨンしんちゃん』から『河童のクゥ』へ」

原 恵一氏(劇場アニメ監督)

代表作品:「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦」
「河童のクゥと夏休み」など

村瀬 学(同志社女子大学生活科学部教授)

【第3部】パネルディスカッション

【パネリスト】

中島 清文氏、原 恵一氏、村瀬 学

西澤 昭男氏(株式会社ワオ・コーポレーション代表取締役会長)
代表作品:「ふるさとーJAPAN」など

米村 みゆき氏(甲南女子大学教員)

【コーディネーター】

今井 邦彦(朝日新聞大阪本社生活文化グループ記者)



同志社女子大学
キャラクター
「VIVI」

同志社女子大学 表象文化学部 今出川キャンパスに開設
英語英文学科と日本語日文学科は、2009年春、京都御苑の隣、伝統と新しさに満ちた今出川キャンパスで「表象文化学部」として新たな歴史を刻みます。

参加者募集
定員**550人**
参加**無料**
[事前申込制]

詳しくは、裏面をご覧ください。

[主 催] 同志社女子大学 ・ 朝日新聞大阪本社



アニメ文化とともに育つ子どもたち -日本のアニメはどこへゆくのか-

出演者プロフィール



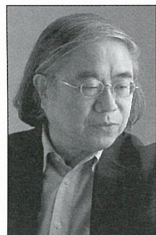
中島 清文氏 (なかじま・きよふみ)

1963年栃木県小山市生まれ。東京大学経済学部卒業後、住友銀行(現・三井住友銀行)に入社。04年4月にジブリ美術館の管理・運営を行う財団法人徳間記念アニメーション文化財団の事務局長に就任。05年6月に三鷹の森ジブリ美術館館長に就任。07年1月に美術館ライブラリー事業を立ち上げ、知られざる名作や海外の優れたアニメーション作品を紹介する活動を続けている。



原 恵一氏 (はら・けいいち)

1959年 群馬県生まれ。PR映画の制作会社を経て、82年シンエイ動画に入社。テレビ「ドラえもん」の演出、「エスパー魔美」のチーフディレクター、「クレヨンしんちゃん」演出を担当。97年から02年の間で6本の「映画クレヨンしんちゃん」シリーズの脚本・監督。「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ!戦国大合戦」(02)にて第六回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞、第57回毎日映画コンクールアニメーション賞を受賞。07年、長年温めた企画「河童のクワと夏休み」を完成。第62回毎日映画コンクールアニメーション賞など、数々の賞を受ける。現在は、フリーとして新作を制作中。



西澤 昭男氏 (にしざわ・あきお)

1942年生まれ。76年に総合教育企業・株式会社ワオ・コーポレーションを設立。現在、代表取締役会長。また、00年に設立したアニメ制作会社・株式会社ワオワールドの取締役会長も兼務。同社の設立を機に、自ら脚本も手がけながら映画監督としての活動を本格化。04年の劇場用長編アニメーション第1作「NITABOH 仁太坊・津軽三味線始祖外聞」は、第10回ソウル国際アニメ映画祭・長編映画部門でグランプリを受賞。第2作「ふるさと—JAPAN」も第12回リヨン・アジア映画祭でアニメ部門&子ども映画部門 Wグランプリを受賞。



米村 みゆき氏 (よねむら・みゆき)

甲南女子大学教員。専門は日本近現代文学・文化、日本児童文学・文化、アニメーション文化論。主な著書は『ジブリの森へ-高畑勲と宮崎駿を読む 増補版』、『宮沢賢治を創った男たち』(日本児童文学学会奨励賞受賞)、『コレクション・モダン都市文化 第39巻 漫画』など多数。



村瀬 学 (むらせ・まなぶ)

1949年京都府生まれ。同志社大学文学部卒業。現在、同志社女子大学教授、児童文化を担当。児童の発達や障害のありかた、物語の中の異形の生き物の存在論などを研究している。主な著書に、『初期心的現象の世界』『銀河鉄道の夜』とは何か』『13歳論』『いのち論のひろげ』『十代の真ん中で』『宮崎駿の「深み」へ』『自閉症』などがある。

コーディネーター

今井 邦彦 (いまい・くにひこ) 朝日新聞大阪本社生活文化グループ記者

応募方法

参加ご希望の方は、はがき、FAX、メールのいずれかで、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、職業(学生の方は学年)、参加希望人数を明記のうえ、下記あて先までお送りください。

【はがき】〒610-0395

同志社女子大学 広報課

APS係

【FAX】0774-65-8632

【E-mail】sympo@dwc.doshisha.ac.jp

※必ず「APS参加希望」と明記してください。

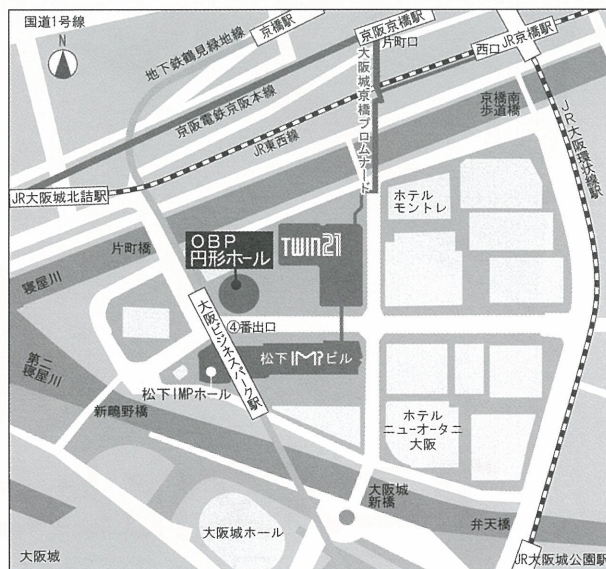
※シンポジウムの参考にいたしますので、講師へのご質問があればお書きください。

締め切り:2008年11月25日(火) 必着

お問い合わせ

同志社女子大学 広報課

【TEL】0774-65-8631 (平日10:00~17:00)



FAX送信先 0774-65-8632 このまま、切り取らず送信してください。

朝日・大学パートナーズシンポジウム 参加申込書

ご住所	〒 電話番号 () -		
フリガナ	年齢	職業※学生の方は学年	
お名前	歳		
参加希望人数	人 シンポジウムの参考にいたしますので、講師へのご質問があればお書きください		

※個人情報保護法により、ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムにおける事務処理および事業目的の範囲以内でのみ利用することとし、第三者に提供することはありません。

※テーマ、基調講演者、パネリストなどは、事情によって変更することがあります。

※応募者多数の場合は抽選。当選発表は入場票の発送をもって代えさせていただきます。

〔主催〕同志社女子大学・朝日新聞大阪本社